

## 会議議事録

会 議 名	第 3 回学校関係者評価委員会	
開 催 日 時	平成 27 年 2 月 21 日（土） 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参 加 者	委 員	参加者 9 名 児島 康夫、山本 慎介、鈴木 一伸、齋藤 洋子、 阿川 裕孝 帆苺 猛、加藤 啓、芦野 裕一、堀越 弘二
		欠席者 1 名 林 淳三
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2014 年度 第 3 回学校関係者評価委員会プログラム</li> <li>●退学者推移一覧表</li> <li>●受験者数推移一覧表</li> <li>●学生アンケート集計結果表</li> <li>●東京都主催 保育のお仕事応援フェスタチラシ</li> </ul>	
会 議 録	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 校長挨拶（帆苺） 開会の挨拶</li> <li>2. 委員長挨拶（児島） 児島先生から、挨拶。</li> <li>3. 平成 25 年度の各評価項目の進捗状況説明（堀越） 配布資料について説明をおこなった。</li> <li>4. 委員からの質疑、評価 別紙参照</li> <li>5. 平成 26 年度自己点検・自己評価について 様式・教育環境・学生支援・社会貢献の取組みについて中間報告をおこなった。（堀越）</li> </ol>	

6. 今後の日程について

今後のスケジュールの提案。

3月下旬 平成26年度自己点検・自己評価をまとめる

4月中旬 平成26年度自己点検・自己評価(案)を郵送

6月下旬 2015年度第1回委員会開催

7. 閉会

## 各評価項目の質疑応答について

### 1. 学校関係者評価について

#### ①退学者数について

2010年度から2014年度2月現在までの推移資料を基に退学率を説明

退学に至るまでの学生への対応について。(児島)

\*最終的に担任が意見書を記入する為、学生に話を聞いてアドバイスをする。また家庭の事情の場合は、保護者を呼んで話をする。本人の心の問題の場合は、担任以外の教員や心理士の資格を持った教員も含めて対応を行っている。(加藤)

退学率だけでなく退学理由についても可能であれば、統計を取った方が良い。また学科毎、学年毎に集計した方が良い。(阿川)

\*より詳細に集計を行っていく。また退学理由についても可能な限り、統計を取っていく(加藤)

同業学校・異業種学校の退学者数も調べる必要があるのでは。また退学者ゼロの時の状況と前後の年の状況を調べることも大事では。(鈴木)

\*中々、退学者数の情報を知りえる事は、難しい状況ではあるが、可能な限り調査をしていく(加藤)

担任の声は？以前の学生と今の学生とでギャップに悩む先生はいないか。(山本)

\*学生一人ひとりに掛かる時間が多くなり、学生対応の仕方も変わって来ている(加藤)

#### ② 受験者数について

2011年度から2015年度2月現在までの推移資料を基に受験者数・合格者数・不合格者数の説明。

本校の入試種類は、AO入試・推薦入試・一般入試の3種類。

2015年度は、AO入試を7月・8月・9月の3回行い、2014年度以前は、7月・9月の2回であった。

自分の受験当時AO入試はなかったが、早い時期にAO入試を行うことに至った経緯は。また退学者は、AO入試合格者なのか一般入試合格者なのか、退学者推移へ盛込んだ方が良い。(鈴木)

\*AO入試については、先ず大学が行い選考時期を早めた事もあり、また学生も早く決めたいとの要望により、社会的な流れもあって、専門学校でも学生を確保したとの理由から始めた。(校長)

\*AO受験者は最低1回、学校見学などに来ているので、学校のポリシーなど、学校の事を理解してもらっている。また合格者については、ほとんど入学手続きをしている。(加藤)

退学者と意欲についての関係性を調べる必要があるのでは。(阿川)

\*退学者のほとんどが、AO入試者である(加藤)

不合格者は、どの入試を受験した生徒が多いのか。(山本)

\*推薦入試・一般入試の方が多い。一般は、どこかを落ちた学生が多い、入れそうな学校という事で選んでいる学生もいる。(加藤)

AO入試で決まった学生に対して学びの目標など学習意欲を高める事を与える必要もあるのではないか。(児島)

\*入学前の段階で課題を出すには、その後のフォローなどと考えると現状の教職員だけでは対応しきれない。(加藤)

\*昨年度から入学前講習を行っており、4月の入学に向けた動機付けを行っている(加藤)

### ③ 学生集計アンケートについて

学生アンケート集計表を基に彰栄を選んだ理由を抜粋した資料を基に説明。

選んだ理由だけでなく、入った後、実際入学してみてどうだったのか。設問も増やした方がよい。(山本)

\*次回のアンケートより設問を追加して対応したい。(加藤)

## 2. 平成26年度自己点検・自己評価について

### ① 様式について

評価機構版と文部科学省ガイドライン準拠版の2種類あるが、26年度版についても昨年度同様、評価機構版にて、現在作成中。

### ② 教育環境について

3号館1階、2階教室の学生用机の入れ替えなどを行った。

### ③ 学生支援・社会貢献の取組みについて

- ・千石図書館との連携 行事やお話会への参加
- ・東京都主催 保育のおしごと応援フェスタへの参加 保育科1年生  
保育士不足もあり、東京都より協力要請依頼があった為、保育科1年生が参加  
800名募集で当日900名の参加。本校学生も120名中、100名が参加。

色々な学校行事にただ、参加すればいいということではなく、ポイントを聞ける様な取組みが必要では。(阿川)

\*東京都主催 保育のおしごと応援フェスタについては、株式会社立とか社会福祉法人立などの区別も出来ていない状況となっており、イベント開催までの準備期間もなかった為、指導も十分ではなかった。専門学校の要望を伝え、今後も継続していきたい(芦野)

### 3. 今後のスケジュール (案)

- 3月下旬 平成26年度自己点検・自己評価をまとめる
- 4月中旬 平成26年度自己点検・自己評価(案)を郵送
- 6月下旬 2015年度第1回委員会開催

6月20日(土)は、都合が悪い為、27日(土)にして頂きたい(鈴木)

\*2015年度第1回委員会の開催については、6月27日(土)で調整をさせていただきます。  
日程が決まりましたら、ご連絡をさせていただきます。(堀越)

### 4. その他

職業実践専門課程認可について

- ・2月17日付けで認可された。20日に指摘事項もない旨、連絡があった。
- ・今後は介護福祉科も進めていく。